

発刊日 平成 28 年 11 月 5 日

奈良体育学会会報

第 79 号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良女子大学 生活環境学部心身健康学科 スポーツ健康科学コース （〒630-8506 奈良市北魚屋西町）

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 井上洋一

秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、平成 28 年度奈良体育学会大会の案内を会員の皆様にお送りいたします。今回のシンポジウムでは、日ごろ教育実践あるいはジュニアやトップアスリート育成の現場にかかわり、研究されてきた笠次良爾先生（奈良教育大学）と穴井隆将先生（天理大学）に登壇願います。お二人には、それぞれに立場からその実践内容や課題そして展望等をお話しいただき、さらに指定討論者として高橋豪仁先生（奈良教育大学）にも加わってもらいながら、広く「スポーツを支える教育的サポート」について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

また、一般研究発表は 6 題が予定されております。年に 1 度の学会大会ですので、是非とも多くの方々にご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、日本体育学会では、本部学会と地域学会組織との在り方について継続して検討されています。奈良体育学会の研究大会や活動、研究発信の仕方など会員の皆様には、今後ともご協力よろしくお願いたします。

平成 28 年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日：平成 28 年 11 月 26 日（土）

会 場：奈良女子大学・生活環境学部 E 棟 1 階 E108, E109 教室（別紙の地図をご参照下さい）

後 援：奈良県教育委員会、奈良県

大会プログラム：

12:15～ 受付（E108, E109 教室前）

12:45～13:15 平成 27 年度奈良体育学会総会（E108）

13:15～14:55 一般発表（E108）

15:10～16:40 公開講演（E108）

17:00～ 懇親会

<一般発表> 13:15～14:45
（発表時間 12 分、討論時間 3 分）

座長 寺田和史（天理大学）

1（13:15～13:30）

伸張-短縮サイクルを用いた事前運動が上肢の筋パワー発揮能力に及ぼす影響

○吉田 寿、増田たまみ、中谷敏昭（天理大学大学院）

キーワード：伸張-短縮サイクル、上肢、事前運動

要旨：若年男性 16 名を対象とし、上肢において事前運動に伸張-短縮サイクル（SSC）を用いた際の各種筋パワー発揮能力に及ぼす影響について検討した。SSC を用いた事前運動は、リバウンド動作やスピード型のパワー発揮を高めることが明らかになった。

2（13:30～13:45）

異なる運動様式を用いた外乱刺激が直後の足圧中心動揺に及ぼす影響

○増田たまみ、吉田 寿、中谷敏昭（天理大学大学院）

キーワード：足圧中心動揺、外乱刺激、異なる運動様式

要旨：異なる運動様式を用いた外乱刺激が直後の足圧中心動揺に及ぼす影響について検討した。被検者は若年男性 14 名とし、自転車、ジャンプ、水泳運動後の足圧中心動揺を閉足立位で開眼および閉眼条件にて運動後の変化を観察した。その結果、運動様式によって動揺が異なる結果が示された。

3（13:45～14:00）

自転車競技選手の動機付けにおける指導者の在り方

○安福洋一（奈良県自転車競技連盟・理事）

キーワード：指導者

要旨：指導者の在り方とは、まず、競技選手がどのような動機付けを持った選手がいるのかを把握することが重要であると考えた。その為には、測定尺度を用いてインターハイ出場組 A 群、不出場組 B 群を検証し比較分析をした。

座長 藤原素子（奈良女子大学）

4（14:10～14:25）

機能的磁気共鳴画像法を用いた運動遂行時・運動イメージ時における Negative BOLD 反応

○中田大貴（奈良女子大学）

キーワード：運動遂行、運動イメージ、神経活動

要旨：機能的磁気共鳴画像法（functional magnetic resonance imaging: fMRI）を用い、左手もしくは右手の運動遂行中、左手もしくは右手の運動イメージ中における Negative blood oxygen level-dependent（BOLD）反応を検討することを目的とした。

5（14:25～14:40）

呼吸様式の違いが骨盤底筋収縮に及ぼす影響 ー腹横筋と腹直筋に着目してー

○辻野和美（奈良女子大学大学院）、星野聡子（奈良女子大学）

キーワード：骨盤底筋収縮、呼吸様式、腹筋群

要旨：骨盤底筋脆弱化が現れやすい一般中高年女性を対象に、異なる呼吸様式を用いて、腹直筋または腹横筋の選択収縮時における骨盤底筋収縮への影響を明らかにした。そしてこの結果から骨盤底筋訓練のより簡易で有効な方法を提案する。

6（14:40～14:55）

胸郭に着目した呼吸様式による登坂歩行時の呼吸系応答

○星野聡子（奈良女子大学）、井上摩紀（大谷大学）、小森康加（大阪国際大学）、

辻野和美（奈良女子大学大学院）、須波真央（奈良女子大学大学院）

キーワード：呼吸様式、胸郭運動、呼吸系応答

要旨：胸郭のコンプライアンスが高いとされる女性を被験者とし、登山のような登坂歩行時の異なる呼吸様式による呼吸系応答を検討することを目的とした。胸郭運動を意識した呼吸様式が、楽に、かつ効率よく代謝要求に応える可能性について探る。

公開講演 (E108) 15:10~16:40

テーマ：「スポーツを支える教育的サポート」

趣 旨：今夏はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、メダルラッシュの好成績に、多くの国民がスポーツへ熱いまなざしを送りました。スポーツが、「する」だけでなく、「見る」「支える」「学ぶ」といった視点をもつことを知るよい機会でもありました。

本シンポジウムでは、スポーツ実践を「支える」にあたって、学んでおくべき考え方に着目し、子どもからトップアスリートまで幅広く支援しておられるシンポジストの方々に、スポーツにおける教育的サポートの重要性について話題提供いただきます。単に、知識の提供や人的サポートをするのではなく、自分のからだをコンディショニングできる行動変容への主体者教育や、2020年東京オリンピックに向けたオリンピック教育にも関連したスポーツに対する考え方を市民の視座からお話いただきます。そしてそこから、スポーツ実践を支えるそれぞれの立場での展望をフロアの皆様と共に探っていきたいと考えております。

シンポジスト：

笠次 良爾先生 (奈良教育大学)

「スポーツ現場のメディカルサポート・リスクマネジメントを教育的な視点から考える」

穴井 隆将先生 (天理大学)

「リオから東京に向けて何を変えるか～スポーツを支える力を市民の視座から考える～」

指定討論者：高橋 豪仁先生 (奈良教育大学)

司会・コーディネーター：星野 聡子先生 (奈良女子大学)

17:00～ 懇親会 (奈良女子大学 生協食堂) 会費：3,000円

※当日受付可ですが、料理の注文の都合上できるだけ **11月18日(金)** までに奈良女子大・中田までお申し込み下さい。 電話：0742-20-3345 E-mail：hiroki-nakata@cc.nara-wu.ac.jp

奈良体育学会事務局よりお知らせ

○研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。

学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

締め切り：平成29年1月27日(金)【消印有効】

提出先：奈良体育学会事務局 (奈良女子大学 中田 宛)

※ CD-ROMなどの媒体と(添付ファイル可)、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。

折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

書 式：用紙A4、40字×40行 一段組、図表ともで4～6枚、上下左右の余白を20mm

(過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

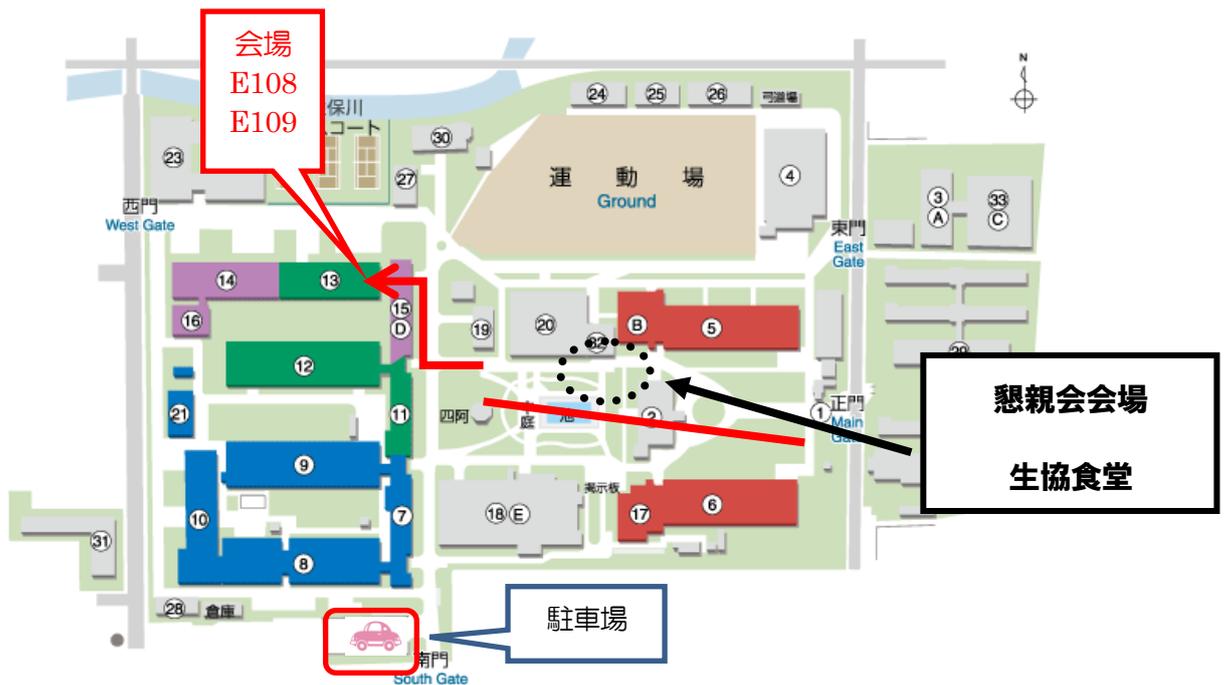
※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。

○日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

平成 28 年度の年会費をお納め下さい。年会費は 1,500 円です。なお、2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169
 加入者名 奈良体育学会

奈良女子大学構内図 自動車の方は東門から、徒歩の方は正門・南門からお入りください。



- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 正門・守衛室 (重要文化財)
Main Gate・Guardroom (Important Cultural Property) ② 記念館 (重要文化財)
Memorial Hall (Important Cultural Property) ③ 本部管理棟
Administration Hall ④ 講堂
Auditorium ⑤ 文学系N棟・国際交流センター
N Hall (Faculty of Letters)
International Exchange Center ⑥ 文学系S棟
S Hall (Faculty of Letters) ⑦ 理学系A棟
A Hall (Faculty of Science) ⑧ 理学系B棟
B Hall (Faculty of Science) ⑨ 理学系C棟
C Hall (Faculty of Science) ⑩ 理学部G棟
G Hall (Faculty of Science) ⑪ 生環系A棟
A Hall (Faculty of Human Life and Environment) ⑫ 生環系D棟
D Hall (Faculty of Human Life and Environment) ⑬ 生環系E棟
E Hall (Faculty of Human Life and Environment) ⑭ 大学院E棟
E Hall (Graduate School of Humanities and Sciences) ⑮ 大学院F棟
F Hall (Graduate School of Humanities and Sciences) ⑯ 総合研究棟H棟・臨床心理相談センター
H Hall (Integrated Projects Research)
Center for Clinical Psychology | <ul style="list-style-type: none"> ⑰ 大学ラウンジ
Lounge ⑱ 学術情報センター
Academic Information Center ⑲ 保健管理センター
Health Care Center ⑳ 学生会館
University Union ㉑ R・I総合実験室
Radioisotope Laboratory ㉒ 第1体育館
First Gymnasium ㉓ 第2体育館
Second Gymnasium ㉔ 文化系サークル共用施設
Club House ㉕ 音楽棟
Music Hall ㉖ 課外活動サークル施設
Facilities for Extracurricular Activities ㉗ 合宿所
Training Camp House ㉘ 埋蔵文化財調査室
Archeology Research ㉙ 寄宿寮・国際学生宿舎
Dormitory/International Student House ㉚ 佐保会館 (同窓会)
Alumnae Hall ㉛ 国際交流会館
International House ㉜ 国際交流プラザ
International Plaza ㉝ コラボレーションセンター・共生科学研究センター
Collaboration Center
KYOUSEI Science Center for Life and Nature | <ul style="list-style-type: none"> Ⓐ 総務・企画課、財務課、施設企画課
General Affairs and Planning Division,
Financial Division, Facility Planning Division Ⓑ 国際課
International Division Ⓒ 研究協力課
Research Cooperation Division Ⓓ 学生センター
Center for Student Services
学務課 (2階)
Educational Affairs Division
学生生活課、入試課 (1階)
Student Support Division,
Entrance Examination Division Ⓔ 学術情報課
Library and Information Division |
|---|--|--|